

2023 年度台湾活動報告

期 間：2024 年 1 月 6 日～1 月 8 日

場 所：高雄市

参加者：小久保 謙一（国際委員会）、安藤 勝信(国際委員会)、中島 高博(国際委員会)

台湾高雄市で開催された 2024 年 台湾透析技術学会学術集会の参加及び高雄市の透析施設の視察を行ったので活動内容を報告する。

台湾透析技術学会学術集会において、講演依頼を受け当委員会から小久保委員長が尿毒素の新たな定義と日本における HDF 治療の現状について講演を行った。発表は英語で行われ、現地では看護師の参加も多かったことから、現地若手医師が中国語へ逐次通訳を行った。台湾の先生からはグリーンネフロロジーについての講演が行

われた。温暖化と腎不全の関係性や透析治療が環境に与える影響についての内容であった。これらの問題点に対する台湾の取組みについて紹介され、ディスカッションが行われていた。

その後、高雄市における透析施設の視察も行った。透析施設の設備や環境は日本と近い印象を受けたが、保険制度や働き方の違いもあり治療時間や治療方法に違いがあると感じた。

